

城南家保ニュース Vol.27-9



熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>

迅速・的確な初動防疫のための防疫研修会の開催

前回の家保だよりで紹介したとおり、先月から高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）特別防疫対策期間が始まり、関連して、去る12月10日、11日に初動防疫研修会及び家畜伝染病防疫研修会が、熊本農政事務所、中央家保にて実施されました。

初動防疫研修会では、万一の発生を想定した初動体制確認のため、発生農場での事前調査内容の確認、さらに、調査時のポイントについて、宮崎県家畜防疫対策課の講師に解説をもらいながら進められました。

家畜伝染病防疫研修会では、午前中、国が主催したHPAI防疫机上演習（10月実施）時に提出した発生想定農場での作業動線、清浄ラインと汚染ライン、埋却地の設定や防疫作業に活用する重機の準備・配置などの設定について、城南家保及び他の家保から解説を行いました。発表後は、前日同様に宮崎県の講師からコメントをいただきながら、注意点などについて活発な意見交換や意識統一を図りました。過去に18例の発生に見舞われている宮崎県の講義・解説は経験に基づく、非常に有効な内容でした。午後からは、初動防疫時に重要となる炭酸ガスボンベの使用法及び取扱い上の注意点等について実習、職員のスキルアップが図られました。



炭酸ガス噴射実習



ボンベ取付実習

平成27年度熊本県畜産関係・家畜保健衛生業績発表会が開催

12月17日及び18日に合志市の県農業研究センターにおいて、平成27年度の畜産関係・家畜保健衛生業績発表会が開催されました。17日は、畜産研究所、農業普及関連の畜産振興に有効と考えられる内容。翌18日は、県内5家保の事業成果をそれぞれ公表する場として、家畜保健衛生関連の業績発表が行われ、当所から、球磨の黒毛和種の平均分娩間隔(406.7日)、平均分娩間隔(290.7日)を求めた「球磨地域における肉用牛生産の現状及び妊娠期間調査」、悪性家畜伝染病対応と関連づけた「近年の病性鑑定実施状況とその特徴」、疾病発生時の出荷成績への影響を調査した「若齢ブロイラーに発生した鶏封入体肝炎」の演題でそれぞれの内容を口頭発表しました。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	9月16日～10月27日	家禽(あひる、鶏)	H5N8
	台湾	9月9日	あひる	H5N2
		9月9日	あひる	H5N2
		10月14日	地鶏	H5N2
		10月16日	あひる	H5N2
		10月20日	地鶏	H5N2
口蹄疫	モンゴル	10月2日	牛、羊、山羊	O型

12月1日現在

編集後記

11月に入り、全国的に渡り鳥の飛来が始まっているようです。環境省のHPによれば、島根県、鳥取県、宮崎県および徳島県で野鳥の糞から低病原性鳥インフルエンザが分離されたとの情報があります。常に危機意識を持ちつつも、平穏無事な年末年始を迎えられたらと願うばかりです。今年も本当にお世話になりました。来年も皆さまにとって素敵な一年が来ますように～。(防疫課 N)